

金沢美術工芸大学

「美の創造を通じて人類の平和に貢献する」ことを理想に掲げ、1946年に金沢美術工芸専門学校として発足しました。1955年には柳宗理氏などを教授に迎えて四年制大学となり、これまでに多くの人間国宝や第一線で活躍するクリエイターを輩出しています。

また、学内には造形芸術総合研究所が設置され、漆、染色、陶芸、彫鍛金の分野で工芸を継承・発展させる人材を育成し、地元の産業界との連携を強化しています。



金沢卯辰山工芸工房

市制100周年を記念し、1989年に設立された「金沢卯辰山工芸工房」では、陶芸、漆芸、染、金工、ガラス工場のそれぞれで3年間の研修を行い、後継者を養成しています。

修了生には市内におけるアトリエや工芸ショップ開設などの支援を行っており、これまでに海外からの研修生も在籍しています。

金沢職人大学校

金沢の高度な職人技能を守り伝えるために、1996年「金沢職人大学校」が設立されました。大工科、石工科、左官科、瓦科、造園科、畳科、板金科、建具科、表具科の9コースで、基本的な技能を身につけている中堅職人が学んでいます。

1999年には新たに修復専攻科を設け、さらなる実習を経た修了生たちが、実際に市内の武家屋敷や町家、茶室などの修復を手がけています。



金沢21世紀美術館

2004年に、丸い独特の外観をもつ現代美術館「金沢21世紀美術館」がまちの中心部にオープンしました。

この美術館では、現代アートとみなせる工芸作品も積極的に収集しており、伝統に革新を加える新たな文化の創造と発信の拠点として、来館者は年間150万人を超えています。



金沢市民芸術村

かつての紡績工場の倉庫群が改修されて、1996年に「金沢市民芸術村」が生まれました。

ドラマ工房、ミュージック工房、マルチ工房、アート工房が設けられて、市民の芸術活動のために自由に利用できる創造空間として「1日24時間、1年365日」開放されています。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Member of the
UNESCO Creative Cities
Network since 2009

手仕事のまち・金沢

金沢市 創造都市推進室 Tel.076-220-2031 Fax.076-264-2535
E-mail kikaku@city.kanazawa.lg.jp